

健康福祉審議会	2023/6/5	資料 4
第2回 介護・高齢部会		

令和4年度(2022年度)高齢福祉・介護保険サービス意向調査の実施結果について

1 目的

高齢者、要支援・要介護認定者の健康福祉・介護保険サービスの利用実態や今後の利用意向等及びケアマネジャーの実態や業務遂行状況等を把握することを目的とする。

2 調査の概要

調査名	調査対象者	調査 標本数	有効回収数 (回収率)
(1)高齢者調査	65歳以上の区民（介護予防・日常生活支援総合事業対象者及び要支援1・2認定者を含む） ただし、要介護認定者を除く	3,000人	1,652人 (55.1%)
(2)介護サービス利用調査	要支援1から要介護5までの認定を受けている区民 ただし、施設入所者を除く	3,000人	1,344人 (44.8%)
(3)ケアマネジャー調査	区内及び隣接区の居宅介護支援事業所で区民のケアプランを10件以上扱っている事業所に所属するケアマネジャー	250人	138人 (55.2%)

3 調査期間

令和4年11月15日～12月6日

4 調査方法

(1)及び(2)…郵送による配布・回収

(3)…郵送による配布・回収とインターネットによる回答

5 調査結果（前回調査：令和2年5月）

※前回調査結果と比較し、変化が大きかった項目

○ここ2週間毎日の生活に充実感がない気がしたかは、「はい」が23.3%で、前回より12.6ポイント減少した。(P69 図7-5)

○ここ2週間これまで楽しんでやれていたことが楽しめない気がしたかは、「はい」が17.3%で、前回より15.7ポイント減少した。(P70 図7-7)

- 介護・介助が必要となった主な原因は、「認知症（アルツハイマー病等）」が36.7%で前回より4.5ポイント減少した一方、「骨折・転倒」は28.6%で、前回より5.0ポイント増加した。（P101 図1-2）
- 作成するケアプランの件数について、「もっと減らしたい」が57.2%で、前回より11.4ポイント増加した一方、「現在の件数で十分」は39.9%で前回より7.3ポイント減少した。（P156 図2-2）
- ケアマネジメントを行う際に、特に対応に苦慮するケースについて、「身寄りがいない」が72.5%で、前回より12.6ポイント、「キーパーソンがいない」が64.5%で、前回より13.1ポイント増加した。（P178 図4-2）